

令和7年第7回水俣市教育委員会定例会会議録

開催日	令和7年7月18日(金)		
場所	水俣市役所4階委員会室1		
会議種類	定例会		
出席委員	平尾 雅述	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
	森下 知恵子	委員	
教育長	蓑田 誠一		
欠席委員	なし		
事務局出席者	設楽 聡	教育課長	
	大川 尊	教育課学校教育室長	
	山内 一也	教育課生涯学習室長	
	田畑 和彦	教育課学校給食センター所長	
	草野 裕美子	教育課指導主事	
	田上 朋史	教育課学校教育室次長	
	柏木 美香	教育課学校教育室主任	
	中村 誠孝	教育課学校教育室次長 (協議第2号説明時)	
	田上 淑子	教育課生涯学習室次長 (協議第2号説明時)	
	正岡 祐子	教育課生涯学習室次長 (協議第2号説明時)	
	山口 健一	教育課生涯学習室公民館長 (協議第2号説明時)	
	金子 昌宏	教育課学校教育室主任 (協議第2号説明時)	
署名者	蓑田 誠一	教育長	
	平尾 雅述	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
	森下 知恵子	委員	
傍聴者	無		
開会宣言	午後1時30分		
<p>1 非公開とする審議事項</p> <p>1) 協議第3号を非公開とすることについて 学校教育室</p> <p>2 報告</p> <p>1) 教育長報告</p> <p>2) 各課報告</p> <p>① 水俣市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱の 学校教育室 制定について</p> <p>② 第32回亀嶺旗争奪少年空手道大会に係る名義後援について 学校教育室</p> <p>③ 第33回亀嶺旗争奪少年剣道大会に係る名義後援について 学校教育室</p> <p>④ 水俣市奨学生選考委員会委員の任命について 学校教育室</p> <p>3 議事</p>			

1) 審議事項 なし	学校教育室
2) 協議事項	
① 令和7年8月の教育委員会定例会の開催日程について	学校教育室
② 令和6年度の点検・評価について	学校教育室 生涯学習室 学校給食センター
③ 学校教育活動の現状について	学校教育室
4 その他	
1) 令和7年8月の行事予定について	学校教育室
2) 水俣市中学校部活動の地域移行（展開）について	学校教育室
1 非公開とする審議事項	

【案件】	協議第3号を非公開とすることについて
【説明】 大川 尊 学校教育室長	個人情報等を含むため、協議第3号は非公開を提案します。
各委員	はい。
【採決】	承認
2 報告事項	
1) 教育長報告	
蓑田 誠一教育長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>一学期も終了しましたが、各学校から児童生徒の大きなけがの報告もなく、元気に過ごせたようです。ただ、教職員に関しては、病気による入院、用務員については転落による骨折が報告されておりますが、いずれも職場復帰をされています。</p> <p>県中体連大会に関しては、先週末から始まっておりますが、水俣市の子供たちもがんばっておりますので、次回の定例教育委員会で、結果を報告いたします。</p> <p>今回は3点報告いたします。</p> <p>まず、夏休み期間の短縮についてですが、本年度も授業時数の確保のため昨年度、一昨年度に引き続き行います。2学期は8月28日（木）から開始予定です。</p> <p>市の管理規則では、9月1日からが2学期となっておりますが、管理規則の改正は行わずに、各校から学期変更承認願を出していただいた上で対応します。今後、2学期の始業式の日付が確定しましたら、管理規則の改正を検討します。</p> <p>なお、本年度も8月13日からの3日間は、閉庁日とします。</p>

	<p>次に、子ども議会ですが、本年度も各学校からの推薦により、市内中高生によるみなまた未来ラボとして、7月23日（水）と24日（木）に中高生が産業、教育、福祉、生活基盤について学び、水俣市に対しての質問を考えます。その後、2週間ほど後になりますが、8月7日（木）に市役所4階の議場において子ども議会を行います。</p> <p>三点目は、社会教育主事現地研修ですが、7月24日（木）から7月26日（土）にかけて、将来、南九州各県の社会教育を担うかもしれない方々に水俣の良さを学んでもらえたらと思います。</p> <p>報告は、以上です。何か質問はございますか。</p>
平尾 雅述委員	夏休みの短縮について、給食との兼ね合いは何かありますか。
田畑 和彦 教育課学校給食センター所長	8月28日（木）から通常どおり、給食の提供も行う予定です。
平尾 雅述委員	本日、終業式でしたが、市役所の駐車場はお迎えの車が多かったです。子供を大切に思っていることかもしれませんが、少し意味合いが違う気がします。夏休みには、普段はできないことを体験してほしいと思います。
蓑田 誠一教育長	少しのことで送迎というのは、地域からも意見があるようです。
	2) 各課報告
報告第1号	水俣市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
山田 誠次委員	通級指導教室に関して、国からの補助はありますか。
大川 尊 学校教育室長	市が支給している内容に対する国からの補助はあります。
山田 誠次委員	先生がお二人いらっしゃるかと思いますが、教室の設置に係る経費に関する補助はないですか。
大川 尊 学校教育室長	人件費に関する補助は特にありません。
報告第2号	第32回亀嶺旗争奪少年空手道大会に係る名義後援について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
報告第3号	第33回亀嶺旗争奪少年剣道大会に係る名義後援について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。

各委員	なし。
報告第4号	水俣市奨学生選考委員会委員の任命について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
3 議事	
1) 審議事項	
なし	
協議第1号	令和7年8月の教育委員会定例会の開催日程について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
協議第2号	令和6年度の点検・評価について
蓑田 誠一教育長	それでは、事務局にて説明願います。
大川 尊 学校教育室長	各担当より順次説明します。
中村 誠孝 教育課学校教育室 次長	(「確かな学力の育成」について配布資料をもとに説明)
大川 尊 学校教育室長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	県学力調査と全国学力調査がありますが、その点数は、不登校関係者も含めたところでの点数ですか。
草野 裕美子 教育課指導主事	含めてあります。通常学級に在籍している子供、そして特別支援の自情学級に在籍している子供は、原則として含めることとなっています。
平尾 雅述委員	点検評価委員の意見として、学力と読書活動の相関関係が記載されていますが、活字離れも心配されますので、学校図書館の活用も必要ですね。子供たちの発表内容など素晴らしかったので、どこに実績を求めるかということもありますね。
山田 誠次委員	資質向上という表現が何度か出てきます。資質向上委員会は、どのようなことを意味しているのですか。
草野 裕美子 教育課指導主事	資質向上について、まず、授業力向上は資質の中に含まれます。学級経営とか子供の理解とか、生徒指導とか、そのような包括的な部分も資質向上に含まれています。
山田 誠次委員	子供への理解に関する研修は、これまで以上に取り組めましたか。

草野 裕美子 教育課指導主事	今年度から、学級経営も重要であるとの方針が出され、各校にもお願いしているところです。
森下 知恵子委員	この事業は、これまでずっと取り組んでこられたと思いますが、何年間続いていますか。今後の方向性は「維持」となっていますが。
草野 裕美子 教育課指導主事	市の総合計画に記載されている事業ですので、その計画期間分は続いていると思います。
森下 知恵子委員	学力の向上に関しては、短いスパンでは結果は出ないと思います。
草野 裕美子 教育課指導主事	水俣市教育委員会として、授業力向上の取組を進めていますが、ただ、同じような研修を繰り返すだけでは向上させることはできないので、見直しながら取り組んでいます。
田上 朋史 学校教育室次長	(「中学校部活動の地域移行」について配布資料をもとに説明)
大川 尊 学校教育室長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	現在の進捗状況はどのようになっていますか。
田上 朋史 学校教育室次長	昨年度、推進計画を策定しましたが、あくまでも制度の骨格の部分であり、実際にそのとおりに移行できるのか、種目ごとの事情もあると思いますので、6月末から7月中旬にかけて、全部活動顧問の先生方に、個別にヒアリングを実施させていただきました。それらの結果を整理の上、次回の定例教育委員会において報告させていただきます。
山田 誠次委員	ここにきて、今後の方向性がよく見えるようになってきました。部活動以外の文化活動で、例えば太鼓など、そういったものも併せて考えていけたらと思います。
本田 恵津子委員	市町広域連携は、どのようなことが想定されますか。
田上 朋史 学校教育室次長	特にサッカー、野球、バスケット等の団体競技において、それぞれの自治体内で、全校が合同で活動しても必要人数に満たない場合に、想定されると思います。
草野 裕美子 教育課指導主事	(「いじめ、虐待、不登校児童対策事業(誰もが楽しく学べる教育環境づくり)」について配布資料をもとに説明)
大川 尊 学校教育室長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	各機関との連携は、どういう状況ですか。
草野 裕美子 教育課指導主事	スクールソーシャルワーカーの各校との面談回数は、記録に残っているだけでも年間300回程度になります。実際はもっと多いと思いますが、もしスクールソーシャルワーカーがいなければ、それを教育委員会で行うことになり、それはまず無理です。
山田 誠次委員	いじめ、虐待、不登校が一つのカテゴリーになっていますが、これでいいのかなと思いました。平成19年度から、自立支援事業連絡協議会を設置して対応されていますが、その当時とは事情も変わってきていますし、不登校問題も大きくなってきていますよね。もう少し、不登校問題に特化したやり方も必要かもしれません。自立支援という言葉について、普通は、この3種類を一緒に捉えるのでしょうか。

草野 裕美子 教育課指導主事	<p>知る限りでは、この3つを自立支援事業として捉えているのは、水俣市だけだったと思います。社会的な自立を目指すという大きな枠があり、その中で子供たちを取り巻く課題として、この3つを上げているということです。</p> <p>不登校に関する課題が非常に大きくなり、現在の状況から考えると、もはや学校だけではどうにもできない状況であり、福祉部局の力も借りないと対応できません。自立支援事業と合わせて、スクールソーシャルワーカーと自立支援室との連携も強めていく必要があります。</p>
金子 昌宏 学校教育室主任	(「安心・安全な学校施設の整備」について配布資料をもとに説明)
大川 尊 学校教育室長	何か質問はございますか。
森下 知恵子委員	学校施設のトイレは、11校中8校で改修が完了したとのことですが、あと何年かかりますか。
金子 昌宏 学校教育室主任	令和12年度までには完了予定です。
平尾 雅述委員	大規模災害時には、各学校の体育館も避難所になりますが、空調整備は考えていませんか。
金子 昌宏 学校教育室主任	国の補助金はありますが、予算にも限りがありますので、優先順位としてまずは、外壁改修に取り組んでいるところです。
山田 誠次委員	建設費が高騰し、人手不足もあります。その辺の影響は出ていますか。
金子 昌宏 学校教育室主任	以前と同じような工事でも、工期的に長くかかるようにはなっています。
田上 淑子 教育課生涯学習室 次長	(「地域と学校の協働活動」について配布資料をもとに説明)
大川 尊 学校教育室長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	全学校へ配置されたことは分かりますが、具体的に何を話し合い、どんなことを行っていますか。
大川 尊 学校教育室長	学校の運営に関する部分の説明、地域との関わりなどについての協議などが行われます。また、学校教職員の人事に関しても、委員が意見を言えるということもあります。外部に対しても、もっと広く分かりやすい説明が必要だと思います。
田上 朋史 学校教育室次長	<p>令和6年4月に、市内全小中学校への学校運営協議会の設置が完了しましたが、各校委員として、教育委員会の職員が一名、配置されています。</p> <p>一例として、自分は第一小学校の委員になっていますので、概要を説明しますと、まず第1回目の会議では、当該年度の学校の運営方針等の説明が行われました。</p> <p>2回目は先日行われましたが、その際には、授業参観の様子を視察し、その後、授業参観に関することやその他の協議を行いました。</p> <p>秋には、第一小学校の場合は、一小まつりという、地域との連携で職業体験を行うイベントがありますが、そちらの視察等も行います。そして、年度末に当該年度の学校活動の評価を行うこととなりますが、昨年度は、子供110番の家の取組なども行っております。</p>

	今のは、第一小学校に関する説明でしたが、それぞれの学校ごとに特色を生かした取組や話し合いが行われています。
正岡 祐子 生涯学習室次長	(「文化財の保存・活用による地域活性化」について配布資料をもとに説明)
大川 尊 学校教育室長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
山口 健一 公民館長	(「公民館自主事業・図書館創作活動事業」について配布資料をもとに説明)
大川 尊 学校教育室長	何か質問はございますか。
森下 知恵子委員	イベント関係の告知はどうされていますか。
山口 健一 公民館長	広報みなまたやホームページ、チラシ等により行っています。
森下 知恵子委員	チラシは各学校には配布していますか。
山口 健一 公民館長	配布しています。
森下 知恵子委員	おばけ屋敷に関するチラシは見ましたが、創作童話ワークショップに関するチラシは見ることがないのですが。
山口 健一 公民館長	ワークショップに関しては、参加者が少なかったなので、おばけ屋敷など内容を変更して行っております。
森下 知恵子委員	創作童話を書くためのワークショップを行う予定ではなかったのですか。
山口 健一 公民館長	実際はそうですが、応募者が少なかったので、内容を変更することになりました。
本田 恵津子委員	令和7年度からの変更になりますか。また、事業の名称も変わっていますか。
山口 健一 公民館長	そうなります。童話を外して創作活動ということで、地元でできることに取り組むことになりました。
平尾 雅述委員	図書館には、調べ学習でどれくらいの子供たちがきますか。
山口 健一 公民館長	あまりいないとは思いますが、夏休みには、特集として様々な本を展示しています。
本田 恵津子委員	市民教室について、最終日に今後の要望等について、アンケートを行っていますか。
山口 健一 公民館長	特に行っていません。
田畑 和彦 学校給食センター 所長	(「笑顔の花咲く給食づくり」について配布資料をもとに説明)
大川 尊	何か質問はございますか。

学校教育室長	
山田 誠次委員	学校生活の中で、給食が占める位置は大きくなっていくと思います。これは給食センターだけの話ではなく、各学校でも給食のありがたみなど子供たちに伝えるべきです。給食センターではいい取組が行われていますので、続けてほしいです。
本田 恵津子委員	施設の有効活用について、何か考えていることはありますか。
田畑 和彦 学校給食センター 所長	児童生徒数が減って、施設に余力が生じている状況で、何かできないのか、今後の課題としています。
本田 恵津子委員	牛乳は、ストロー無しで飲んでいきますか。
田畑 和彦 学校給食センター 所長	県内一斉に取り組んでいますが、全国的にもストローレスは進んでいます。水俣市だけでも1日で1800本、毎年200食、これが、県、国となれば相当な量になります。ただ、支障がある児童生徒にはストローを配布しています。
森下 知恵子委員	最初はストロー無しで飲むことにびっくりしたみたいですが、すぐに慣れたようですね。
平尾 雅述委員	環境にいい取組にはなりますね。アイスクリームも、食べられるスプーンができましたし、水俣市にアミカテラもありますので、様々な環境に良い取組が進んでいけばと思います。小中学生のうちは、しっかりとした食習慣を身に付けて高校に進学してほしいと思います。
協議第3号	学校教育活動の現状について
草野 裕美子 教育課指導主事	(報告の概要) ① 6月の小中学校長期欠席児童生徒報告について ② 6月の児童生徒事故・非行報告について ③ その他
	《非公開》
4 その他	
1)	令和7年8月の行事予定について
草野 裕美子 教育課指導主事	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
2)	水俣市中学校部活動の地域移行（展開）について
田上 朋史 学校教育室次長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
本田 恵津子委員	国からは、当初想定していなかったような話が、次々に出てきていますよね。今のあいまいな状況で令和8年9月からの地域移行というのは、厳しいと思います。 子供たちにとって大事なことです。見切り発車にならないように、慎

	重に判断の上、国、県の体制が整うまで延期することはできないのでしょうか。
田上 朋史 学校教育室次長	新たに、制度の根幹にかかわるような話も出ていますので、先ほど説明しました全顧問の先生方のヒアリング内容を、カテゴリー別に整理の上、考えていく必要があると思います。手当の部分など、特に予算面も担保されない状況では、移行が難しい部分もあります。
本田 恵津子委員	視察を行った玉名市と宇土市に関しては、どのような状況なのでしょうか。
田上 朋史 学校教育室次長	昨年11月に、先進地視察研修として玉名市と宇土市を訪問しました。玉名市は、すでに休日の部活動を移行し、いだてん玉名という組織を立ち上げられていました。平日はこれまでどおり学校部活動、休日の活動がいだてん玉名で、試合に出場する生徒はいだてん玉名にも入部するという感じでした。 宇土市については、水俣市と方針が似通っているのですが、教育委員会が管理する形態で、休日のみならず平日も含めて、公営クラブチームを立ち上げ、これまでの部活動と変わらない感じで実施していくとのことでした。
平尾 雅述委員	なかなかはっきりとは固まらない部分がありますが、とりあえず修正しながらやっていくことになりそうですね。
田上 朋史 学校教育室次長	先生方の働き方改革もありますが、まずは、保護者や生徒の安心感、活動環境の確保を第一に考えて計画を作成したところです。ただ、ヒアリングの中では、指導上のトラブルなどもいくつか確認されておりますので、心配な部分もあります。 競技力の向上を目指す子供たちには、すでにキッズスポーツクラブも整備されていて、部活動との掛け持ち、あるいはキッズスポーツクラブのみとして活動している生徒がたくさんいます。 しかし、適度に運動を行いたい生徒にとっては、学校部活動の形態も必要かと思っておりますので、そのような観点から、地域移行の推進計画を策定しました。この地域移行の話は、当初は、指導者としての受け皿さえ見つければというような雰囲気が進んでいましたが、実際は、そのような簡単な話ではないことが分かってきました。
大川 尊 学校教育室長	担当からも説明がありましたが、現在は、教職員が休日の指導を行った際は、日額上限3,300円の手当が県から支給されていますが、地域移行後はその手当は支給されませんので、つまり先に移行した方が、損をするような制度になっています。ただ、先日、全ての顧問の先生方のヒアリングを行いました。すごく大変な状況とのことで、そのような負担を解消するためには、早く進めなければならないとは感じています。
平尾 雅述委員	移行時においては、何が大切なのかの優先順位を決めて、出てきた課題を話し合うべきだと思います。部活動で一番大切にしてきたのは、勝つことよりも人格教育だと思います。
本田 恵津子委員	新たに改革実行期間として、令和13年度までの期間が設けられましたが、国の認定基準や財源の話なども今後示されるとのことですので、それまで延期してもいいのではないのでしょうか。 見通しが立たない状況で移行しても、子供たちの活動環境が不安になるだけだと思います。
平尾 雅述委員	そういう話は、今後の検討協議会でも出てくると思います。関係者が納得できる状況で進めていった方がいいと思います。
山田 誠次委員	手当も含め、部活動に係る経費というのは、これまで考えたことはなかつ

	<p>たんですが、確かに学校で賄っていた部分を地域に出す際には、その分の予算を別途用意してからじゃないと、進まないですよ。国の政策として、そこは必要ですよ。後出しでもいいので、予算はつけてほしいですね。その予算がつかいたら、なんとかしますので、それまでの間はとりあえず予算無しで始めていきますということを、説明できればいいのかなと思います。</p>
田上 朋史 学校教育室次長	<p>明確に予算が示されていない現時点では、そういう選択肢もあるのではないかと思います。</p> <p>大川室長も申し上げましたが、教職員には県から休日の指導に係る手当が支給されています。地域指導者には、学校本部費等により、薄謝として年額でいくらかの手当が支給されているケースもあるようです。</p> <p>地域展開が進めば、少なくとも休日の指導に関しては、この部分を統一的に考える必要があり、それをどのように賄っていくのか、どのような方法で支給していくのか、現時点ではまだ分からない状況です。</p>
平尾 雅述委員	<p>これとは違う話ですが、給食費についても自治体ごとに違いますよね。部活動の移行が多く市の町村で進めば、当然、予算や報酬の話なども大きくなるでしょうし、その時には給食費の差についても、併せて議論になるような気がします。</p>
田上 朋史 学校教育室次長	<p>義務教育課程の子供たちの活動環境と先生方の働き方に関する話であり、市町村の財政力による差が生じることは好ましくないため、こういう部分だけは、県内での統一的な対応が必要ではないかと思います。</p>
3)	その他
蓑田 誠一教育長	<p>本日の議題は全て終了しましたが、それ以外に、各委員から何かありますか。</p>
各委員	なし。
閉会宣言	午後 4 時 1 5 分